

README

Copyright RICOH JAPAN Corporation. 2010, 2023, All rights reserved.

このたびは、本製品をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用の前に、取扱説明書と併せて必ずお読みください。
本書は改良のため、予告なしに変更する事があります。

他社所有名称に対する表示

- ・ Microsoft, Windows, Windows Server, Visual C++ は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Adobe, Acrobat, Adobe Reader, PostScriptは、米国Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ SVF, SVFX-Designer, EUR, Universal Connectは、ウイングアーク1st株式会社の登録商標です。
- ・ 日立製作所, uCosminexus, VOS3/LS, VOS3/US, XMAP, JP1/AJSは、株式会社日立製作所の登録商標です。
- ・ VMware, VMware vCenter Server, VMware Cloudは米国およびその他の地域におけるVMware, Inc. の登録商標または商標です。
- ・ Amazon Web Services, AWSは、米国その他の諸国におけるAmazon.com, Inc. またはその関連会社の商標です。
- ・ InstallShieldは、InstallShield Software Corporationの登録商標です。
- ・ Unicodeは、米国およびその他の国におけるUnicode, Inc. の登録商標です。
- ・ RICOH, TotalFlow, Prinfina, PDFダイレクト, RPCSは株式会社リコーの登録商標です。
- ・ その他の会社名および製品名・ロゴマークは各社の商号、商標または登録商標です。

略称説明、記憶容量の表記については取扱説明書(本編)の「はじめに」を参照してください。

記載項目

1. 動作環境
2. 前提プログラム
3. 関連プログラム
4. メモリ所要容量およびディスク占有量
5. 機能追加内容
6. 修正内容
7. サポート終了製品
8. オープンソースライセンスについて

1. 動作環境

取扱説明書(本編)の「1.4 動作環境」を参照してください。

2. 前提プログラム

- ・ RO System 連携を使用する場合
RICOH TotalFlow Report Operating Manager 1.0.0以降
(実績通知アプリケーション含む)

3. 関連プログラム

- 3.1 PDE 連携を使用する場合
 - 3.1.1 KD Series, IMPACT GX以外のプリンターを使用する場合
 - ・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager – Connector-P01 1.3.6以降
 - ・ R-1521C-111 PRINT DATA EXCHANGE – Print Edition 01-14以降
 - または、R-1521C-211 PRINT DATA EXCHANGE – Print Edition 02-00以降

- (1) VOS3から出力をする場合
- ・ R-1121C-21 PRINT DATA EXCHANGE 分散ライタ 01-03以降
 - ※複数帳票を1つのジョブで送るためには、R-1121C-21 PRINT DATA EXCHANGE 分散ライタ 01-03以降が必要です。

(2) VOS1から出力をする場合

①VOS1/LS

- ・ R-12251-12D VOS1 ホスト帳票分散出力ユーティリティ 02-01以降
- ・ R-1221C-31D PRINT DATA EXCHANGE イメージ転送 01-00以降

②VOS1/FS

- ・ R-12251-12C VOS1 ホスト帳票分散出力ユーティリティ 02-01以降
- ・ R-1221C-31C PRINT DATA EXCHANGE イメージ転送 01-00以降

(3) VOSKから出力をする場合

①VOSK/LS

- ・ R-14251-12D VOSK ホスト帳票分散出力ユーティリティ 02-00以降
- ・ R-1421C-31D PRINT DATA EXCHANGE イメージ転送 01-00以降

②VOSK/FS

- ・ R-14251-12C VOSK ホスト帳票分散出力ユーティリティ 02-00以降
- ・ R-1421C-31C PRINT DATA EXCHANGE イメージ転送 01-00以降

3.1.2 KD Series, IMPACT GXプリンターを使用する場合

- ・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Connector-P01 1.3.6以降
- ・ R-1521C-131 PRINT DATA EXCHANGE - Line Printer Edition 01-14以降
- または、R-1521C-231 PRINT DATA EXCHANGE - Line Printer Edition 02-00以降

(1) VOS3から出力をする場合

- ・ R-1121C-21 PRINT DATA EXCHANGE 分散ライタ 01-03以降
- ※複数帳票を1つのジョブで送るためには、R-1121C-21 PRINT DATA EXCHANGE 分散ライタ 01-03以降が必要です。

(2) VOS1から出力をする場合

①VOS1/LS

- ・ R-12251-12D VOS1 ホスト帳票分散出力ユーティリティ 02-01以降
- ・ R-1221C-31D PRINT DATA EXCHANGE イメージ転送 01-00以降

②VOS1/FS

- ・ R-12251-12C VOS1 ホスト帳票分散出力ユーティリティ 02-01以降
- ・ R-1221C-31C PRINT DATA EXCHANGE イメージ転送 01-00以降

(3) VOSKから出力をする場合

①VOSK/LS

- ・ R-14251-12D VOSK ホスト帳票分散出力ユーティリティ 02-00以降
- ・ R-1421C-31D PRINT DATA EXCHANGE イメージ転送 01-00以降

②VOSK/FS

- ・ R-14251-12C VOSK ホスト帳票分散出力ユーティリティ 02-00以降
- ・ R-1421C-31C PRINT DATA EXCHANGE イメージ転送 01-00以降

3.2 PDE Open連携を使用する場合

3.2.1 KD Series, IMPACT GX以外のプリンターを使用する場合

- ・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Connector-P02 1.3.6以降
- ・ R-1521C-151 PRINT DATA EXCHANGE for Open 01-07以降
- または、R-1521C-251 PRINT DATA EXCHANGE for Open 02-00以降
- ・ R-F1521C-1511 PRINT DATA EXCHANGE
- Enterprise Printer Option 01-07以降
- または、R-F1521C-2511 PRINT DATA EXCHANGE
- Enterprise Printer Option 02-00以降

3.2.2 KD Series, IMPACT GXプリンターを使用する場合

- ・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Connector-P02 1.3.6以降
- ・ R-1521C-151 PRINT DATA EXCHANGE for Open 01-07以降
- または、R-1521C-251 PRINT DATA EXCHANGE for Open 02-00以降
- ・ R-F1521C-1513 PRINT DATA EXCHANGE - Line Printer Option 01-07以降
- または、R-F1521C-2513 PRINT DATA EXCHANGE - Line Printer Option 02-00以降

3.3 Open System連携を使用する場合

・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Connector-P03	1. 3. 6以降
3. 4 RO System連携を使用する場合	
・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Connector-P04	1. 3. 6以降
3. 5 FTP System連携を使用する場合	
・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Connector-P05	1. 3. 6以降
3. 6 ユニクライアントを使用する場合	
・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Extension-P02	1. 3. 6以降
3. 7 LB-F Seriesプリンターを使用する場合	
・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Writer-P09	1. 3. 6以降
3. 8 Pro Series1プリンターを使用する場合	
・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Writer-P10	1. 3. 6以降
3. 9 Pro Series2プリンターを使用する場合	
・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Writer-P11	1. 3. 6以降
3. 10 Pro Series3プリンターを使用する場合	
・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Writer-P12	1. 3. 6以降
3. 11 SP Seriesプリンターを使用する場合	
・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Writer-P13	1. 3. 6以降
3. 12 KD Seriesプリンターを使用する場合	
・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Writer-P18	1. 3. 6以降
3. 13 PDF分割登録を使用する場合	
・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Tool-P01	1. 3. 6以降

4. メモリ所要容量およびディスク占有量

- ・ メモリ所要容量：8GB以上
 - ・ ディスク占有量
 - プログラム用 (Base)：約330MB
 - VC++ランタイム用：約300MB
 - ログ情報用：約20MB
 - プリンター管理用：登録プリンター数×2GB
 - 印刷ジョブ用：印刷ジョブの総容量の4倍以上※
- ※ジョブデータ・プレビュー画像・プリンター送信用データ・管理用データなどを合わせた目安の値となります。

- ログ情報は最大容量と世代管理数を変更することができます。最大サイズを増やしたり、世代管理数を増やしたりすると占有するディスク容量が増えます。
- 本製品では印刷データをジョブフォルダーに格納します。ジョブを残す設定にすると、印刷データが蓄積されるため占有するディスク容量が増えます。

5. 機能追加内容

5.1 「1.3.5」から「1.3.6」での機能追加

- (1)異体字 (Unicode IVS), JIS2004を含む印刷データの印刷に対応しました。
- (2)Pro Series1, またはPro Series3の出力先プリンターを新規作成する際に、プリンターと通信できない状況でも機種を選択して作成することができるように対応しました。

(3) 複数のP0サーバーから同一プリンターで運用できるように対応しました。

5.2 「1.3.4」から「1.3.5」での機能追加

(1) Windows Server 2022に対応しました。

(2) Amazon Web Services (AWS) 環境での動作に対応しました。

(3) PDE連携・PDE Open連携にて、VMware HAの冗長化構成に対応しました。

(4) Open System連携にてジョブの解析に失敗した場合、Windowsスプーラーにジョブが残り、P0サービスを起動するたびに連携処理時エラーが発生するため、解析に失敗したジョブを移動または削除する機能を追加しました。

(5) 1つのWindowsユーザーで複数のユニクラライアントユーザーの画面設定を保存できるように対応し、Windowsユーザーとユニクラライアントユーザーを1対1で運用する制限を解除しました。

(6) PDF帳票のセパレーターの用紙向きをFTP連携の連携口ごとに設定できるように対応しました。また、印刷属性ファイルによる帳票ごとのセパレーターの用紙向きを設定できるように対応しました。

(7) PostScript帳票の解析処理の性能を向上し、ジョブの登録にかかる時間を短縮しました。

5.3 「1.3.3」から「1.3.4」での機能追加

(1) SP Seriesとして以下のプリンターに対応しました。

- ・ RICOH IM 7000/8000/9000/9000T
- ・ RICOH P 6030 (M)/6020 (M)/6010 (M)/6000 (M)
- ・ RICOH P 501 (M)/500 (M)

(2) R0 System連携にて、VMware HAの冗長化構成に対応しました。

(3) MSFCの冗長化構成はサポート対象外になりました。

5.4 「1.3.2」から「1.3.3」での機能追加

(1) 複数のP0システムから1つの出力先プリンターを設定し、プリンターの監視を手動で切り替えられる機能を追加しました。

(2) プリンターで障害が発生した際にあらかじめ設定した別のプリンターで自動的に代替印刷する、自動障害再印刷機能を追加しました。

(3) ジョブ単位で複数のプリンターによる分散印刷ができるように、振り替え印刷機能を追加しました。

(4) SVFで生成した帳票の解析処理に、TotalFlow- P0 Base 1.2.2と同等の解析処理をするモードを追加対応しました。

(5) PDF分割登録のアプリケーションを64bitに対応しました。

(6) 印刷が完了したページ数が確認できるように、ジョブ一覧の表示項目に印刷済みページ数を追加しました。

5.5 「1.3.1」から「1.3.2」での機能追加

(1) PDE, PDE for Open, EURで生成した帳票の解析処理に、TotalFlow- P0 Base 1.2.2と同等の解析処理をするモードを追加対応しました。

(2) Pro Series1として以下のプリンターに対応しました。

- ・ RICOH Pro 8300S/8310S/8320S/8310Y/8310HT/8320Y/8320HT

(3) SP Seriesとして以下のプリンターに対応しました。

- ・ RICOH IM C6000/C5500/C5500A/C4500/C4500A/C3500/C3000/C2500/C2000

(4) 以下のツールの処理結果が詳細にわかるように、戻り値および処理結果を示すメッセージを改善しました。

- ・ 一括ジョブ削除コマンド (SpJobDelete.exe) ※
- ・ バックアップコマンド (SpBackupJob.exe) ※
- ・ プレビュー画像一括生成コマンド (SpCreatePreviewImage.exe) ※
- ・ バックアップ設定

※1.3.2以前と同じ戻り値を返す機能として互換モードをオプション機能として備えています。

5.6 「1.3.0」から「1.3.1」での機能追加

(1) ジョブ一覧の「処理結果」に「印刷完了(未印刷有)」のステータスを追加し、未印刷ページが存在することが分かるようにしました。

(2) ジョブ一覧の「用紙サイズ」に、Windowsのプリントサーバーのプロパティで指定した用紙名称を表示できるように対応しました。

(3) プリンターとの通信が出来なくなった場合に、ジョブの印刷を一旦中断し、通信回復後に未印刷ページを自動的に再印刷できるように対応しました。

5.7 「1.2.4」から「1.3.0」での機能追加

(1) Pro Series3として以下のプリンターに対応しました。

- ・ RICOH Pro C7200S/C7210S(標準構成)

(2) RICOH Pro 8210Y/8210HT/8220Y/8220Hにて、出力先プリンターのホッパーの設定で、複数のトレイが指定できるように対応しました。

※対象となる給紙トレイは1~6のみです。

(3) メンテナンスツールのバックアップ画面およびリストア画面にて、「受付ID」を表示するようにしました。

5.8 「1.2.3.1」から「1.2.4」での機能追加

(1) Pro Series3として以下のプリンターに対応しました。

- ・ RICOH Pro C5200S/C5210S

(2) SP Seriesとして以下のプリンターに対応しました。

- ・ RICOH SP C840/C840M/C840a1/C840Ma1/C841/C841M/C841a1/C841Ma1
- ・ RICOH SP 8400/8400M/8400a1/8400Ma1

(3) ジョブのコメント属性に対して、複数行の設定および表示に対応しました。

5.9 「1.2.3」から「1.2.3.1」での機能追加

(1) Windows Server 2016に対応しました。

5.10 「1.2.2」から「1.2.3」での機能追加

(1) SP Seriesにて出力先プリンター設定時に、プリンターの給排紙トレイの構成を自動的に認識するように変更しました。

(2) FTP System連携にて、PDFファイルのジョブの印刷管理に対応しました。これにより従来のスルーモードを使用せずに、PDFダイレクト印刷をサポートするプリンターへの出力が可能になりました。

- (3) 以下の冗長化構成サーバーに対応しました。
 - ・VMware HA(High Availability)
 - ・MSFC(Microsoft Failover Clustering)
- (4) エラー発生や印刷完了の通知機能(メール送付やアプリケーション起動)をサポートしました。
- (5) サーバー環境設定およびメイン操作画面の設定画面で、操作性向上のため画面のレイアウトの変更を行いました。また、設定画面によっては、画面の最大化およびサイズ変更を可能にしました。

5.11 「1.2.1」から「1.2.2」での機能追加

- (1) 以下のプリンターに対応しました。
 - ・RICOH Pro 8200S/8210S/8220S
 - ・RICOH Pro 8210Y/8220Y/8210HT/8220HT

5.12 「1.2.0」から「1.2.1」での機能追加

- (1) RICOH Pro C9100/C9110/C7100S/C7110S/C7110/C5100S/C5110Sに対応しました。
- (2) KD Seriesにて以下の対応を行いました。
 - ・KD55AHに対応しました。
 - ・LANアダプター: C5200Hに対応し、KD Seriesが対応するLANアダプターをC5200Hのみに変更しました。
 - ・KD80Aにて、プリンター設定操作部の「モード選択」で「カクチョウモード3」も選択できるように対応しました。
- (3) メイン操作画面のプリンター一覧画面に表示されるプリンターの並び順を変更できるようにしました。
- (4) メンテナンスツールの「バックアップ設定画面」および「リストア設定画面」のサイズを変更できるようにしました。
- (5) 印刷履歴ログにて印刷範囲を出力するようにしました。
※印刷範囲のログは即時出力されますが、ヘッダレコード(1行目)の出力は次世代のファイルからになります。
ヘッダレコードも即時反映させたい場合は、バージョンアップ前に既存のログを別フォルダーに退避し、ログが新規に作成される状態にしてください。

6. 修正内容

6.1 「1.3.5」から「1.3.6」での修正

- (1) プリンターからジョブ情報を取得する際のリトライ回数を増やし、ジョブ情報が見つからずに異常終了する問題を修正しました。
- (2) バックアップファイルをリストアする際にファイルハンドルの解放処理が漏れていたため、大量のジョブをリストアできない問題を修正しました。

6.2 「1.3.4」から「1.3.5」での修正

- (1) PostScript・RPCS帳票の印刷向きとセパレーターの印刷向きが合わない場合があったため、PostScript・RPCS帳票の解析精度を向上しました。また、PostScript帳票は運用に合わせて既存バージョンの動作仕様にも切り替えられるように対応しました。
- (2) PDE連携・PDE Open連携・FTP System連携の「部単位にジョブを分割して登録する」または

「帳票単位にジョブを分割して登録する」を設定している場合に冗長化環境においてサーバーの系切り替え時に実行するツール(SpRecovery.exe)で削除するファイルに漏れがあったため修正しました。

- (3) 印刷データ送信中に複数のジョブ(セパレーターがあるジョブや複数帳票のジョブの場合も含む)をキャンセルすると、ごくまれに不正なメモリアクセスによりP0サービスが終了する問題を修正しました。

6.3 「1.3.3」から「1.3.4」での修正

- (1) 範囲指定印刷にてジョブを出力する際に、指定した範囲の先頭帳票が「出力先選定不可」や振り替え印刷でプリンターが見つからなかった場合、指定した範囲と異なるページが印刷される問題を修正しました。
- (2) 操作画面(メイン操作画面、ユニクライアント画面)が複数起動している場合、障害通知画面から再印刷を指示しても、別の操作画面上の障害通知画面は表示されたままになってしまう問題を修正しました。
- (3) 振り替え印刷機能により印刷可能なプリンターを検索している最中に、一部の操作でジョブをキャンセルを実行できてしまう問題を修正しました。
- (4) PDLがRPCSのジョブにおいて、ジョブの用紙向きとTotalFlow-P0で出力するセパレーターの用紙向きが合わず、用紙サイズエラーが発生する場合がある問題を修正しました。
- (5) 一部のメールサーバー環境において、メール通知機能によるメール送信がエラーとなりメール通知を行えない場合がある問題を修正しました。
- (6) 連続した印刷ジョブの登録および印刷により、ごく稀に印刷ジョブのキューへの追加と削除が競合し、P0サービスが終了する問題を修正しました。
- (7) SP Seriesの一部のプリンターにおいて、大量のジョブを印刷すると印刷中そのまま停止してしまったり、異常終了(通信断)になってしまう問題を修正しました。
- (8) バックアップ設定ツール/リストア設定ツールで実行ボタンを連続して押下すると、稀に処理が競合しバックアップ/リストアでエラーが発生する問題を修正しました。
- (9) P0サービス起動時の設定ファイルの読み込みで不正なメモリアクセスにより正常に起動できない場合がある問題を修正しました。

6.4 「1.3.2」から「1.3.3」での修正

- (1) 標準コントローラー(GW)を搭載のプリンターに限り、以下の制限を解除しました。
 - ・1つのプリンターに対して複数のP0サーバーから印刷する場合はコンピューター名の先頭10文字が異なっている必要がある。
- (2) ジョブのキャンセル処理を改善し、キャンセルが完了するまでの時間を短縮しました。
- (3) 大量のジョブを登録するとメイン操作画面の表示が遅延する事象を修正しました。
- (4) 大量帳票を印刷した際に、メイン操作画面の表示およびログの出力が遅延してしまう事象を修正しました。
- (5) 出力先プリンターの表示仕様を以下の通り変更しました。
 - ・ジョブの出力先プリンターは、印刷中(テスト印刷も含む)または最後に印刷した帳票の出力先プリンターを表示する。
 - ・表示条件として出力先プリンターを設定している場合、「ジョブの出力先プリンター」が一致するジョブを表示する。
- (6) メイン操作画面の定期的な表示更新処理において、まれにジョブの状態が更新されない不具合を修正しました。

- (7) 印刷済みページ管理機能を有効にしている場合に、範囲指定印刷での正常印刷回数（帳票の属性）のカウント漏れを修正しました。
- (8) メイン操作画面が表示されるまでの時間を短縮しました。
- (9) 大量ジョブや大量帳票のジョブをコマンドライン起動(CLI)によるバックアップ、またはプレビュー画像一括生成を実行するとタイムアウトしてしまう事象を修正しました。
- (10) プリンターからのSNMP応答待ちのタイムアウト時間を見直し、通信断と判定してしまう事象を修正しました。
- (11) メイン操作画面以外のTotalFlow-P0製品の操作については、リモートデスクトップ接続による操作をサポートするように制限を緩和しました。
- (12) 印刷済みページ管理ファイルのファイルオープンに失敗した場合にリトライする対応をしました。
- (13) 範囲指定印刷を実行した場合、ジョブ一覧画面の総ページ数に範囲指定したページ数が表示されない不具合を修正しました。
- (14) P0のクライアントとサーバー間の通信でエラーが発生した場合に、不正なメモリアクセスが発生しサービスが終了する問題を修正しました。
- (15) 通信断のプリンターに対してジョブ出力すると、稀に不正なメモリアクセスが発生しサービスが終了する問題を修正しました。
- (16) 1ジョブ複数帳票のジョブに対して再印刷を実行した後、同ジョブが「回復待ち」の状態ジョブのプロパティ画面を表示すると再び障害通知画面が表示される不具合を修正しました。
- (17) 1ジョブ複数帳票のジョブに対して再印刷を実行し、印刷指示したすべての帳票が「出力先選定不可」となった場合、ジョブ一覧に前回出力した出力先プリンターが表示される不具合を修正しました。
- (18) プレビュー画像一括生成機能(SpCreatePreviewImage.exe)を実行中にCtrl+Cなどで処理を中断すると、TotalFlow-P0サービスが停止する場合がある問題を修正しました。
- (19) バックアップ機能のコマンドライン起動(SpBackupJob.exe)、プレビュー画像一括生成機能(SpCreatePreviewImage.exe)を実行中にCtrl+Cなどで処理を中断すると、ジョブ状態が「バックアップ中」「プレビュー画像一括生成中」のままとなり元の状態に戻らなくなる問題を修正しました。
- (20) バックアップ機能のコマンドライン起動(SpBackupJob.exe)を実行中にCtrl+Cなどで処理を中断した場合に、メモリリークが発生し、ごく稀にアプリケーションエラーとなる問題を修正しました。

6.5 「1.3.1」から「1.3.2」での修正

- (1) メイン操作画面上に表示するメッセージを消していない状態で、メイン操作画面上での操作が可能になってしまう問題を修正しました。
- (2) KD Series, IMPACT GXプリンターでR0 System連携のセパレーターを含むジョブを用紙確認から印刷開始を指示した場合、印刷中のプリンターエラーによる障害通知画面からテスト印刷できない問題を修正しました。
- (3) バックアップ設定ツールにて「バックアップと同時にジョブを削除する」を指定して実行した場合、ジョブの削除に失敗しても正常終了と判断してしまう問題を修正しました。

- (4)一部のプリンター機種において、エラーが発生した状態で一定時間経過すると印刷ジョブが異常終了（アボート）となってしまう問題を修正しました。
- (5)一部のプリンター機種において、データサイズが大きい特定の印刷データを印刷すると、印刷途中にタイムアウトが発生し印刷ジョブが異常終了（アボート）となってしまう場合がある問題を修正しました。
- (6)LB-F Series・HT-4558・HT-4561プリンターで、印刷中にジョブキャンセル後、再印刷すると異常終了（通信断）になる場合がある問題を修正しました。
- (7)PostScriptのページヘッダで給紙トレイに手差しトレイを指定した場合、InputTrayMaskが正常に動作しない問題を修正しました。
- (8)LB-F Series・HT-4558・HT-4561プリンターでエラー発生後、スリープモードに遷移すると障害通知が消えてしまう問題を修正しました。
- (9)R0 System連携よりRPCSのジョブをRICOH Pro 8200シリーズのプリンターから出力する場合、InputTrayMaskによる給紙トレイ指定が不正に動作する問題を修正しました。
- (10)コマンドライン起動によるバックアップを実行する際に、条件グループを20個設定した条件定義ファイルを指定し実行すると異常終了する問題を修正しました。
- (11)自動リカバリ印刷機能によるリカバリ印刷中にプリンター側でジョブをキャンセルすると、異常終了（アボート）となる問題を修正しました。
- (12)プリンターでジョブの異常終了により印刷データが削除された場合、ごくまれにTotalFlow-P0サービスが終了する問題を修正しました。
- (13)条件定義ファイルの作成ツールの開くボタンによるファイル選択ダイアログにて、単一ファイルの選択のみ許可するように修正しました。
- (14)リストア設定ツールのバックアップファイルを開くボタン、条件定義ファイルの作成ツールの開くボタンによるファイル選択ダイアログにて、存在しないファイル名を指定するとアプリケーションが終了してしまう問題を修正しました。
- (15)バックアップ設定ツール・リストア設定ツールで表示する処理の進捗を示すプログレスバーが、処理が完了する前に消えてしまう問題を修正しました。

6.6 「1.3.0」から「1.3.1」での修正

- (1)バックアップ時とリストア時の環境（プリンターのグループ構成）が変わると、印刷履歴の出力先グループに不正な値が出力される問題を修正しました。
- (2)印刷中にジョブをキャンセルすると、ごくまれにキャンセルに時間がかかる問題を修正しました。
- (3)PDFダイレクト印刷にて、印刷属性ファイルで排紙トレイを指定すると、指定した排紙トレイからセパレーターが出力されない場合がある問題を修正しました。

6.7 「1.2.4」から「1.3.0」での修正

- (1)メンテナンスツールの一括ジョブ削除の実行、もしくはバックアップ画面にて「バックアップと同時にジョブを削除する」を指定してジョブの削除を行うと、ごく希に処理が終了しなくなってしまう問題を修正しました。
- (2)プリンターの電源がONの状態にもかかわらず、ごく希にTotalFlow-P0が「通信断」と判断し印刷が出来なくなってしまう問題を修正しました。
- (3)メイン操作画面がごく希に起動できない場合がある問題を修正しました。

- (4) 印刷テキスト表示で一部の文字が表示されない問題を修正しました。
- (5) バックアップコマンド (SpBackupJob. exe) で一括削除オプション (-d) を使用する場合において、一括削除処理に失敗しても正常終了の戻り値「0」を返してしまう問題を修正しました。
- (6) RICOH Pro C901/C901S/C9110/C9100プリンターにおいて、集約印刷時に印刷履歴ログの印刷要求ページ数に不正な値が出力される問題を修正しました。
- (7) 印刷ジョブをプリンターへ送信中にプリンターエラーが発生すると、ジョブの状態が「印刷データ送信待ち」の状態のままとなり、以降に投入したジョブも印刷されない場合がある問題を修正しました。
- (8) 出力先プリンター名に“%”に入っていると、メール通知機能でのメール送信時に TotalFlow-P0サービスが終了してしまう問題を修正しました。

6.8 「1.2.3.1」から「1.2.4」での修正

修正内容はありません。

6.9 「1.2.3」から「1.2.3.1」での修正

- (1) Adobe Reader等で不定形サイズの内紙にPSドライバーを使って印刷する際に、「PDFのページサイズに合わせて内紙を選択」にチェックを入れた場合、本文の1ページ目が左右反転した状態で印刷される場合がある問題を修正しました。
(該当プリンター：対応PDLがPS/RPCSのプリンター)
- (2) Adobe Reader等で不定形サイズの内紙にPSドライバーを使って印刷する際に、文書サイズよりも小さい内紙サイズを指定した場合、セパレーター出力時に内紙サイズエラーが発生する場合がある問題を修正しました。
ただし、Adobe Reader等の設定において、ページを内紙に合わせるような設定や、もしくは向きを自動で回転させるような設定を有効にする必要があります。
(該当プリンター：対応PDLがPSのみのプリンター)

【注意】

連続紙プリンターの場合は、印刷の向きは横に設定しないでください。
内紙サイズエラーが発生する場合があります。

6.10 「1.2.2」から「1.2.3」での修正

- (1) メイン操作画面が最小化または最大化の状態を終了した場合、次回起動時に終了時の状態で表示されない場合がある問題を修正しました。
- (2) バックアップ実行中にESCキーを押下して処理をキャンセルしようとした場合、ジョブの状態が「バックアップ中」のままになる問題に対し、ESCキー押下でもバックアップ処理がキャンセルできるように修正しました。
また、リストア処理も同様にESCキー押下でキャンセルできるように修正しました。
- (3) Writer-P01/P02/P06/P09/P18のプリンターを接続して、TotalFlow-P0を長時間起動していると、メモリー不足が発生し、TotalFlow-P0サービスが停止してしまう問題を修正しました。
- (4) 内紙確認画面もしくは障害通知画面からのテスト印刷において、印刷テキスト表示(印刷プレビュー表示)した際に、表示できないページがある問題を修正しました。
- (5) 印刷を行ったジョブに対し、ごく希に、プリンターで異常が発生したと判断してしまい、処理結果が「異常終了(アボート)」となり、正常に印刷できない場合がある問題を修正しました。
- (6) 内紙確認ダイアログから、一時停止中のプリンターへテスト印刷を行い、

そのままキャンセルを行うと、用紙確認ダイアログが操作不能になってしまう問題を修正しました。

- (7) KD Series, IMPACT GXにおいて、印刷中にエラーが発生し印刷が途中で中断した場合、次の印刷で不正な文字が表示されるなど、タイミングによっては正しく印刷されない場合がある問題を修正しました。

6.11 「1.2.1」から「1.2.2」での修正

- (1) PSデータの集約印刷を行った際に、以下の値が集約前のページ数になってしまう問題を修正しました。
- ・ジョブ一覧の「総ページ数」
 - ・ジョブのプロパティの「ページ数/部」
 - ・範囲指定印刷の「範囲指定」
 - ・テスト印刷の「範囲指定」
 - ・印刷テキスト表示のページ数
 - ・印刷プレビュー表示のページ数
 - ・印刷履歴ログの総ページ数、印刷ページ数、印刷開始ページ、印刷終了ページ
- (2) 不定形用紙サイズのPSデータの場合、セパレーターを印刷するとプリンターでPSエラーが発生したり、振り分け条件の用紙サイズの設定と一致するサイズでも正しく振り分けができなかったりする問題を修正しました。
- (3) メイン操作画面の「プリンター並び順設定」にてプリンターを未選択状態で[↓]ボタンを押すとアプリケーションエラーになる問題を修正しました。
- (4) バックアップ機能のコマンドライン起動(SpBackupJob.exe)を実行中にCtrl+Cなどで処理を中断すると、ジョブ状態が「バックアップ中」のままとなり元の状態に戻らなくなる問題を修正しました。
- (5) プレビュー画像一括生成機能(SpCreatePreviewImage.exe)を実行中にCtrl+Cなどで処理を中断すると、ジョブ状態が「プレビュー画像生成中」のままとなり元の状態に戻らなくなる問題を修正しました。
- (6) TotalFlow-P0サービス起動直後にジョブのバックアップを行うと、メイン操作画面からジョブが一時的に消えてしまうことがある問題を修正しました。
- (7) KD Series, IMPACT GXにおいて、障害発生後の再印刷でページ数が不正となる問題を修正しました。
- (8) KD Series, IMPACT GXにおいて、印刷中にエラーが発生し印刷が途中で中断した場合、次の印刷で不正な文字が表示されるなど、正しく印刷されない場合がある問題を修正しました。
- (9) メイン操作画面が希に異常終了してしまう問題を修正しました。
- (10) 複数のユニククライアント(メイン操作画面も含む)が存在する環境において、印刷プレビューを実行時に、別のユニククライアントでジョブの印刷や削除を行うと、ジョブの状態が「出力操作受付中」または「削除中」となり、操作を受け付けなくなる問題を修正しました。
- (11) ページプリンターにて両面奇数ページを印刷した場合、印刷履歴の印刷完了ページ数が印刷要求ページ数よりも大きい値(+1)になる場合がある問題を修正しました。

6.12 「1.2.0」から「1.2.1」での修正

- (1) メイン操作画面終了時に希にアプリケーションエラーになることがある問題を修正しました。

(2)大量ジョブの印刷中に印刷プレビュー画面を表示すると、メイン操作画面もしくはユニクライアント操作画面が終了してしまう場合がある問題を修正しました。

(3)カット紙プリンターのPSドライバー出力のジョブにおいて、本文とセパレーターが異なるトレイから出力される場合がある問題を修正しました。

7. サポート終了製品

本バージョンよりサポートが終了する製品

- ・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Writer-P01
- ・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Writer-P02
- ・ RICOH TotalFlow Print Operating Manager - Writer-P06

8. オープンソースライセンスについて

本ソフトウェアの中には弊社の著作物でないものが含まれます。
詳しくは、メディアの中の¥OSSフォルダーを参照してください。

[libjpeg-6b/7/8/8a/8b/8c/8d/9/9a/9b/9c]

<http://www.ijg.org/>

このOSSの著作者からは、OSS一般の表記事項以外にもお客様への通知を求められている項目がありますので、以下にその全文を掲載します。

なお、下記から参照されるプログラムの内、

ansi2knr.c, configure, config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh, install-sh
は本製品には含まれておりません。

[libjpeg-6b]
LEGAL ISSUES
=====

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-1998, Thomas G. Lane.
All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

- (1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice

unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.

(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltconfig, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by M. I. T. but is also freely distributable.

It appears that the arithmetic coding option of the JPEG spec is covered by patents owned by IBM, AT&T, and Mitsubishi. Hence arithmetic coding cannot legally be used without obtaining one or more licenses. For this reason, support for arithmetic coding has been removed from the free JPEG software. (Since arithmetic coding provides only a marginal gain over the unpatented Huffman mode, it is unlikely that very many implementations will support it.) So far as we are aware, there are no patent restrictions on the remaining code.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that

"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

[libjpeg-7]
LEGAL ISSUES
=====

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-2009, Thomas G. Lane, Guido Vollbeding. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.

(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by X Consortium but is also freely distributable.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that
"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of
CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of
CompuServe Incorporated."

[libjpeg-8]
LEGAL ISSUES
=====

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-2010, Thomas G. Lane, Guido Vollbeding. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

- (1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
- (2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
- (3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by X Consortium but is also freely distributable.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that
"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of
CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of
CompuServe Incorporated."

[libjpeg-8a]
LEGAL ISSUES
=====

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-2010, Thomas G. Lane, Guido Vollbeding. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.

(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by X Consortium but is also freely distributable.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that
"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of
CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of
CompuServe Incorporated."

[libjpeg-8b]
LEGAL ISSUES

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-2010, Thomas G. Lane, Guido Vollbeding. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.

(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub,

ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by X Consortium but is also freely distributable.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that

"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

[libjpeg-8c]
LEGAL ISSUES

=====

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-2011, Thomas G. Lane, Guido Vollbeding. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.

(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's

software”.

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script “configure” was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by X Consortium but is also freely distributable.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce “uncompressed GIFs”. This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that
“The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of
CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of
CompuServe Incorporated.”

[libjpeg-8d]
LEGAL ISSUES

=====

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided “AS IS”, and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991–2012, Thomas G. Lane, Guido Vollbeding. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these

conditions:

(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.

(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

ansi2knr.c is included in this distribution by permission of L. Peter Deutsch, sole proprietor of its copyright holder, Aladdin Enterprises of Menlo Park, CA. ansi2knr.c is NOT covered by the above copyright and conditions, but instead by the usual distribution terms of the Free Software Foundation; principally, that you must include source code if you redistribute it. (See the file ansi2knr.c for full details.) However, since ansi2knr.c is not needed as part of any program generated from the IJG code, this does not limit you more than the foregoing paragraphs do.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by X Consortium but is also freely distributable.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that
"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of
CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of
CompuServe Incorporated."

[libjpeg-9]
LEGAL ISSUES

=====

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-2013, Thomas G. Lane, Guido Vollbeding. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.

(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by X Consortium but is also freely distributable.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent, GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that

"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of

CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of
CompuServe Incorporated."

[libjpeg-9a]
LEGAL ISSUES

=====

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-2014, Thomas G. Lane, Guido Vollbeding.
All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.

(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by X Consortium but is also freely distributable.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent (now expired), GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

We are required to state that

"The Graphics Interchange Format(c) is the Copyright property of CompuServe Incorporated. GIF(sm) is a Service Mark property of CompuServe Incorporated."

[libjpeg-9b]
LEGAL ISSUES

=====

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-2016, Thomas G. Lane, Guido Vollbeding. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

(1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.

(2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".

(3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by X Consortium but is also freely distributable.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent (now expired), GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

[libjpeg-9c]
LEGAL ISSUES
=====

In plain English:

1. We don't promise that this software works. (But if you find any bugs, please let us know!)
2. You can use this software for whatever you want. You don't have to pay us.
3. You may not pretend that you wrote this software. If you use it in a program, you must acknowledge somewhere in your documentation that you've used the IJG code.

In legalese:

The authors make NO WARRANTY or representation, either express or implied, with respect to this software, its quality, accuracy, merchantability, or fitness for a particular purpose. This software is provided "AS IS", and you, its user, assume the entire risk as to its quality and accuracy.

This software is copyright (C) 1991-2018, Thomas G. Lane, Guido Vollbeding. All Rights Reserved except as specified below.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this software (or portions thereof) for any purpose, without fee, subject to these conditions:

- (1) If any part of the source code for this software is distributed, then this README file must be included, with this copyright and no-warranty notice unaltered; and any additions, deletions, or changes to the original files must be clearly indicated in accompanying documentation.
- (2) If only executable code is distributed, then the accompanying documentation must state that "this software is based in part on the work of the Independent JPEG Group".
- (3) Permission for use of this software is granted only if the user accepts full responsibility for any undesirable consequences; the authors accept NO LIABILITY for damages of any kind.

These conditions apply to any software derived from or based on the IJG code, not just to the unmodified library. If you use our work, you ought to acknowledge us.

Permission is NOT granted for the use of any IJG author's name or company name in advertising or publicity relating to this software or products derived from it. This software may be referred to only as "the Independent JPEG Group's software".

We specifically permit and encourage the use of this software as the basis of commercial products, provided that all warranty or liability claims are assumed by the product vendor.

The Unix configuration script "configure" was produced with GNU Autoconf. It is copyright by the Free Software Foundation but is freely distributable. The same holds for its supporting scripts (config.guess, config.sub, ltmain.sh). Another support script, install-sh, is copyright by X Consortium but is also freely distributable.

The IJG distribution formerly included code to read and write GIF files. To avoid entanglement with the Unisys LZW patent (now expired), GIF reading support has been removed altogether, and the GIF writer has been simplified to produce "uncompressed GIFs". This technique does not use the LZW algorithm; the resulting GIF files are larger than usual, but are readable by all standard GIF decoders.

— 以上 —